

公園で“〇〇もできる！”とは？

近年の環境変化により、公園に求められる役割は多様化するとともに公園の清掃などはボランティアの皆さまに支えられています。高齢化や担い手不足といった課題が生じています。川崎市では地域の皆さまが公園に愛着を持ち、『自分たちの公園』と感じられ行きたくなる公園になることで、皆さまが主体となった管理運営につなげ、地域のコミュニティが形成されることを目指しています。そのため、各区でモデル公園（エリア）を設定し、この公園に行けばやってみることができる『公園で実現してみたいこと＝公園で“〇〇もできる！”』をキーワードに、地域の皆さまと話し合いながら公園について一緒に考え、より自由に使える公園づくりを進めていきます。



ワークショップの概要

《話し合うこと》

- ・今の公園についてどう思うか
- ・公園で「やりたいこと」
- ・自由に使いこなせる公園
- ・公園のルールや使い方 など

《ワークショップの開催規模》 年4回程度

《参加を予定しているメンバー》

公園で活動する団体・関係者、利用者（未就学児保護者、小中高大学生、高齢者）
関係機関（保育園教諭）、行政職員 など



みんなで持ち寄った草花
で彩る花壇



時間や広場により遊び方を分
ける公園づくり